

技術・家庭科（家庭分野C）学習指導案

日 時 令和6年11月15日

会 場 山形市立第三中学校 4階多目的室

指導者 山形市立第三中学校 小松 愛美

対 象 山形市立第三中学校 3年6組(29名)

1. 題 材 持続可能な消費生活を目指して C(2)ア イ

2. 目 標

持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

3. 指導にあたって

(1) 生徒観

本学級の生徒たちは、これまで家庭分野の全ての内容において、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を行ってきた。内容Bの食生活では、食材を無駄なく使用した調理の方法を調べたり、旬の食材や輸送コストを抑えた地元野菜を利用したりするなどの環境に配慮した食生活を考える活動を行った。内容Cの衣生活では、衣服等の再利用の方法について調べる活動を通して、資源の有効活用法を知ったり、環境に配慮した布製作を行ったりした。これらの学習を通して、衣食住の営みが環境に与える影響や、限りある資源の有効な活用について理解を深めている。

事前アンケートの「今後生活していく上で環境について心配に思うことは何ですか？」という問いに対して、最も多く回答に挙げたのは「地球温暖化」であった。続いて「異常気象」「森林伐採」「大気・海洋汚染」「ゴミ問題」「資源の枯渇」などが挙げた。複数回答をしている生徒がほとんどで、環境や今後の未来に対して不安を感じている様子が伺えた。一方で「環境に配慮して何か行っていることはありますか？」という問いに対して約2割の生徒が何もしていないと回答した。また、行っている内容としては「節電・節水」「ゴミの分別」「好き嫌いをしないで食べる」などであった。しかし、学校生活での様子を見ていると、「教室移動の際の電気のつけっぱなし」「手洗い時の水の出しっぱなし」「紙の無駄遣い」などが見受けられる。結果として、環境に配慮した生活は必要だと授業で理解していても、生活の中で意識して行動している生徒は少ない。

(2) 教材観

私たちは、毎日多くのエネルギー資源を消費して生活している。私たちがエネルギーを消費することによって、多くの二酸化炭素が排出され、地球温暖化をはじめとする環境問題を引き起こす要因を作っている。地球温暖化は年々深刻化し、世界的な問題となっている。この深刻な問題を解決するために、世界中で様々な取り組みが行われている。国連の定めたSDGs17の目標や脱プラスチックを推奨する企業やテレビ番組など、環境問題に対する取り組みが行われていることを、生徒たちも目にして知っている。ただ、社会的な問題であるということは捉えているが、自分の遠い所で起きている問題として認識している。しかし、環境に配慮した生活をしていかなければ今後益々、生活環境は悪化し、生活を脅かすと予測できる。そのため、今後の未来を担う生徒たちだからこそ、環境に配慮した生活の仕方や、資源の有効活用について工夫し実践する力をつけるために必要な教材である。

(3) 指導観

本題材における「深い学び」の姿と手立て

| 深い学びの姿 | 生徒の深い学びの具体的な様子 | 教師の手立て |
|-------------------------|---|--|
| ○学んだことと生活と社会を結び付けて考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常における様々な行動が、地球温暖化を深刻化させる原因であることに気付くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を深刻化させる原因であることに気付くために、ICTや思考ツールを活用し、エネルギー消費の仕方について振り返らせる。 |
| ○多角的・多面的な視点で考え、最適解を見つける | <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な根拠を明確にして、自分にできる実践内容を決定することができる。 ・他者の考えを聞いたり、計画したことを実践したりして、自分の考えを深めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできる実践内容を決定することができるように、調べ学習や思考ツールを活用し、実生活で現実的に、継続して実践できるものを見つけられるようにする。 |
| ○自己の学びを俯瞰して振り返りを行う | <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題や消費生活に対する学習前後の自己の変容に気付くことができ、行動に表そうとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習前後の自己の変容に気付くことができるように、ポートフォリオ形式で記入させる。 |

4. 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------------------|--|--|
| 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 | 自立した消費者としての消費行動について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | よりよい生活の実現に向けて、自立した消費者としての消費行動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫して創造し、実践しようとしている。 |

5. 指導計画と評価規準（5時間計画）

| 時数 | 学習活動 | ○：評価規準 ◇：評価方法 | | |
|---------|--|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、環境について心配に思っていることは何か、生徒の実態を把握する。 地球温暖化のメカニズムや原因を知る。 地球温暖化が進行すると困る理由を考える。 生活の中でエネルギーを消費している場面を見つける。 | <p>○自分や家族の消費生活が、環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p> <p>◇ワークシート</p> | | <p>○環境に配慮した生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>◇ワークシート</p> <p>◇ポートフォリオ</p> |
| 1 本時 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちのどのような行動が、地球温暖化を深刻化させているのか原因追及する。 温暖化が深刻化している原因に自分たちの消費行動が関わっていることに気付く。 | | | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 実生活での自分たちの消費行動による原因追及を基に、改善方法を考える。 地球温暖化を抑えるために、自分ができることを検討し、課題を設定する。 | | <p>○自立した消費者としての責任ある消費行動や持続可能な社会の構築について、問題を見いだし課題を設定している。</p> <p>◇ワークシート</p> <p>◇ポートフォリオ</p> | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な改善方法を調べ、生活がどのように変化するかや、どの程度環境に配慮できるのか等の科学的な根拠を明確にした計画を立てる。 | <p>○自分や家族の消費生活が、環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p> <p>◇ワークシート</p> | <p>○自立した消費者としての責任ある消費行動や持続可能な社会の構築について考え、工夫している。</p> <p>◇パワーポイント</p> <p>◇行動観察</p> | <p>○よりよい生活の実現に向けて、環境に配慮した生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。</p> <p>◇ポートフォリオ</p> <p>◇パワーポイント</p> |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 計画や実践内容を報告する活動を通して、改善策があるかを検討する。 自分の生活を再度見直し、環境に配慮した生活の継続を | | <p>○自立した消費者としての責任ある消費行動や持続可能な社会の構築についての</p> | <p>○よりよい生活の実現に向けて、環境に配慮した生活を課題解決に向けた取り組みについて</p> |

| | | | | |
|--|------|--|--|--|
| | 考える。 | | 課題解決に向けた取り組みについて、考察したことを論理的に表現している。 ◇パワーポイント ◇行動観察 | 振り返って改善しようとしている。 ◇ポートフォリオ ◇パワーポイント |
|--|------|--|--|--|

6. 本時の学習

(1) 目標

地球温暖化の原因につながる自分たちの消費行動を考えることができる。

(2) 展開

| 学習活動【学習形態】 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| <p>1. 前時を振り返る。 【全体】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 生徒のポートフォリオを活用させ、前時の学習について振り返らせる。 地球温暖化の原因が、自分たちの行動によるものかもしれないという課題意識を持っていることを捉えさせる。 |
| <p>課題 自分の生活の中でエネルギーをどんな場面で、どのように使っているか振り返ろう</p> | |
| <p>2. 地球温暖化につながる自分たちの生活のエネルギー消費の仕方を考える。 【個人→グループ】</p> | <ul style="list-style-type: none"> フィッシュボーンチャートに記入して、原因を追及できるようにさせる。 自分の生活経験やこれまで学習してきた持続可能な社会の構築に向けた活動を振り返り、具体的な消費行動を挙げるように促す。 考えが行き詰まる様子が見られた場合は、教科書を見たり、他グループと交流したりしてもよいと伝える。 |
| <p>○本時における生徒の「深い学び」の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どのように使っているか」を、より具体的に細分化した内容を話し合っている。 <p>(例)</p> <p>電気 電気のつけっぱなし (深夜まで起きている・寝落ちしてそのまま・明るいのにつける)</p> <p>水 水の出っぱなし (歯磨きで口をゆすぐ時・食器を洗う時にため洗いをしていない)</p> <p>ガス 風呂の追い炊きをする・何度も火にかけて料理を温める・暖房のつけっぱなし</p> <p>モノ すぐ食べずに期限が過ぎた・新しいものをすぐ買っていた・まだ使えるのに捨てていた</p> <p>★「深い学び」を実現するための手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会問題としてではなく、自分事として問題を捉えるために、自分たちが日常でエネルギーを消費する【電気・水・ガス・モノ (ゴミの廃棄)】に焦点を当て、「どんな場面で」「どこで」「どのように使っている」のかを問いかけて、具体的に考えられるようにする。 さらに考えを広げるために、必要に応じて、他グループの交流を通して新たな着眼点を与える。 これまでの生活を見直すための資料や、考えを深める補足資料を準備する。 | |
| <p>3. 振り返りを行う。 【個人→全体】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化につながる行動や生活の仕方を考え、感じたことの見聞交換をする。 |

(3) 評価

地球温暖化の原因につながる自分たちの消費行動を考えることができたかを、ワークシートの記入内容及び交流の様子から評価する。